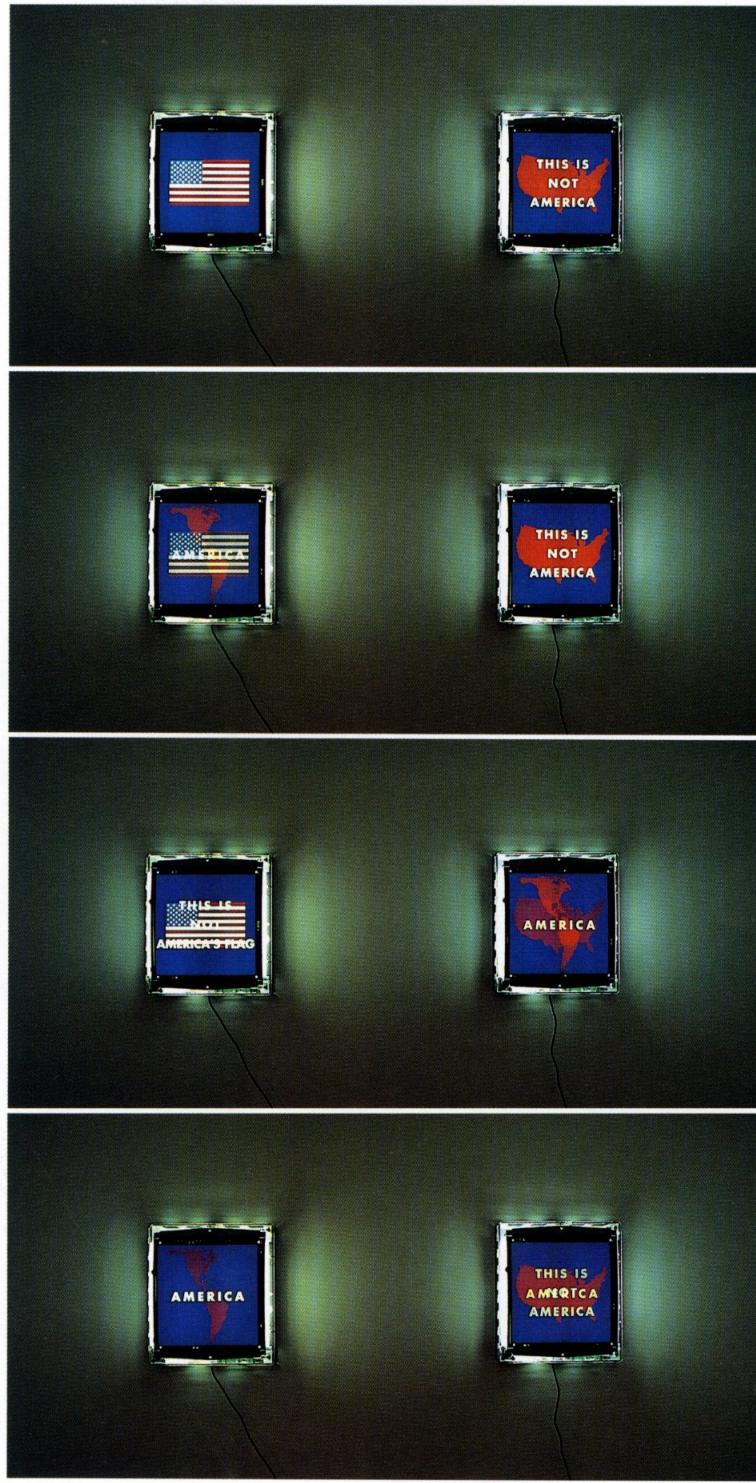


# アメリカン・ストーリー — 移動と変容の中で AMERICAN STORIES: Amidst Displacement and Transformation



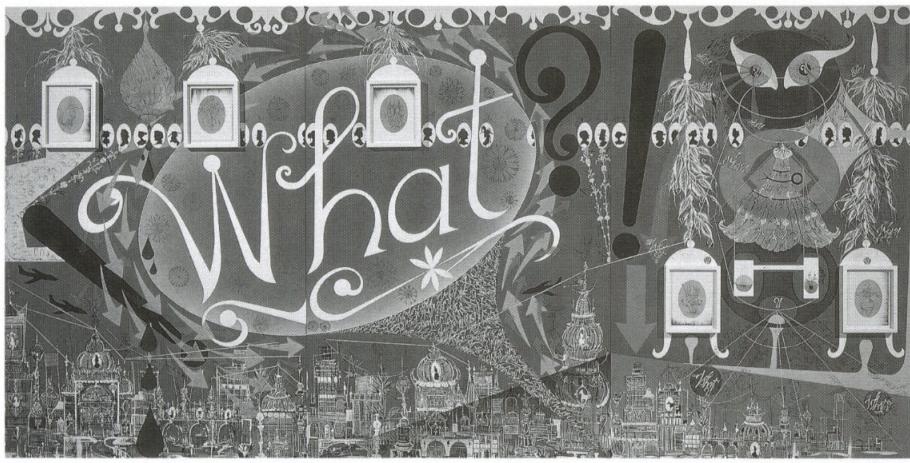
アルフレッド・ジャール《アメリカのロゴ》1987-97年

1997年11月1日㈭-12月23日㈫・祝 千葉市美術館  
午前10時-午後6時(入館は5時30分まで)毎週金曜日は午後8時まで(入館は7時30分まで)  
月曜日休館[ただし11月3日/24日(月・祝)開館、翌4日/25日(火)休館]  
〒260 千葉市中央区中央3-10-8 Tel. 043-221-2311/ハローダイヤル 043-227-8600

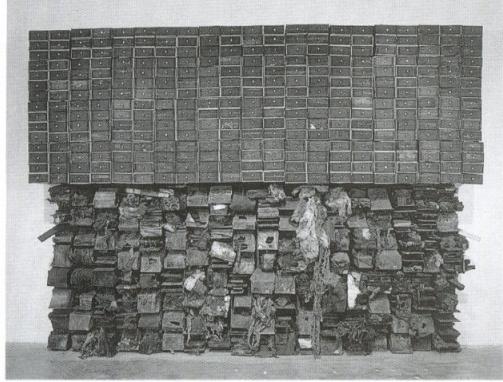
主催:千葉市美術館/朝日新聞社 後援:外務省/アメリカ大使館

助成:国際交流基金 協賛:資生堂 協力:日本航空/IA&A

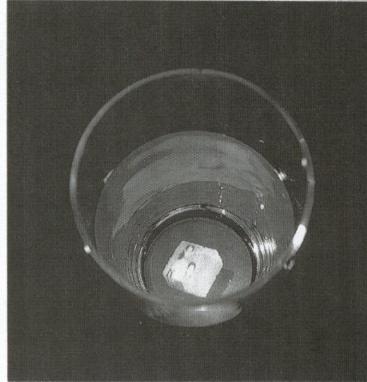
観覧料:一般900(720)円/大高生700(560)円/中小生300(240)円( )は前売及び団体30名以上の料金



ラリー・ピットマン《ザ・デイ・アフター》1988年



レオナルド・ダルー《無題》1996-97年



ブルース & ノーマン・ヨネモト《記憶について》1995年



ペポン・オソリオ《床屋では泣いてはいけない》1994/97年

近年、情報通信手段、交通機関の発達に伴い、国際間の経済的、文化的交流は年ごとに盛んになっています。19世紀以降、個人の思想、行動を規定してきた国民国家の概念も徐々に揺らぎ始め、いわゆる〇〇人としての一元的自己規定、アイデンティティも、今はや絶対のものではなくなりました。様々な場所から場所へと移動を重ねながら変容を遂げていく、より柔軟で重層的な個人のあり方が生まれつつあります。

アメリカは、こうした人々が集い、多義的、流動的な文化を形成している場所です。本展は、アメリカの現在に焦点をあて、ヨーロッパ、アジア、アフリカ、南米、ネイティヴ（インディアン）など、さまざまな文化的背景を背負いながら、アメリカ人として活動している作家をとり上げます。彼らが移動と変容の過程で、自らをどう規定し表現しているかをたどることで、アメリカ美術の一側面に光をあてようとする試みです。

#### 出品作家(18組19名)

アルフレッド・ジャール、ブルース & ノーマン・ヨネモト、ロバート・コールスコット、マイク・ケリー、ジミー・ダーハム、ペポン・オソリオ、レオナルド・ダルー、イク=ジュン・カン、マーチン・ピューリヤー、エイドリアン・パイパー、マニュエル・オカンボ、ラリー・ピットマン、アリソン・サール、ロジャー・シモラ、ホン・リュウ、ボブ・アイサワ、エンリケ・チャゴヤ、ワツ・ワタラ

(順不同)



ロバート・コールスコット《ドラクロワへのオマージュ—民衆を導く自由の女神》1976年



イク=ジュン・カン《ハッピー・リーフ》1991-97年

#### 【同時開催】「江戸の摺物」10月21日(火)~11月24日(月)

#### 関連イベント

イベントに関するお問合せは美術館まで

#### アルフレッド・ジャール、ブルース & ノーマン・ヨネモト講演会

本展の出品作家ジャール氏とヨネモト兄弟の講演会を連続して行います。

日時:11月1日(土) 午後2時より

会場:千葉市美術館11階講堂

※入場無料、先着順

#### ギャラリートーク

日時:11月8日・24日/12月6日・21日 いずれも午後2時より

講師:当館学芸員

※8階展示室で受付

#### [交通案内]

##### ■JR総武線千葉駅

- 東口より徒歩15分
- 京成バス大学病院行(のりば⑦)「大和橋」下車徒歩2分
- 京成バス矢作台市営住宅・川戸行(のりば⑦)あるいは小湊バス八幡宿駅行(のりば④)「広小路」下車徒歩1分
- 無料巡回シャトルバス[チーバス](のりば⑩)「中央区役所・美術館前」下車(11:00~18:00の毎時05分と35分に発車、水曜日運休)
- 京成千葉中央駅より徒歩約10分

※なお来館者用駐車場が少ないため、自家用車でのご来館はご遠慮下さい。

